

## ●中学生向け消費者教育教材「消費者センスを身につけよう」に対するアンケート結果

【対象数】 135校 （公立117校 私立7校 特別支援学校11校）

【回答数】 126校

	校数
授業での活用(予定も含む)	58 ※内42校が予定
授業以外での活用	20
未活用	48
合計	126

### ①授業での具体的な活用方法(予定も含む)

- ・パンフレットを活用して消費者トラブルの事例と解決方法について考えた
- ・契約と消費生活、消費者の権利の具体的な事例として紹介した
- ・冊子の読み合わせを行い、お互いの経験を話し合った
- ・消費者の基本的な権利と責任・自立した消費者について学習する際に活用
- ・1学期に受けた消費生活センターの出前授業の内容に振り返って活用する予定

### ②授業以外での活用内容

- ・担任より内容を説明し冊子を配布した
- ・社会科(公民)授業後、宿題として配布した

### ③活用しなかった理由

- ・コロナウィルス感染拡大防止による休業のため授業時間を確保できなかった

### ④その他感想、意見

- ・今後、成人年齢が18歳になるため、早めに消費者教育を行うことは大切だと思う
- ・SNSでのトラブル、交通マナー、新聞など、色々な題材を扱っているのが良かった
- ・分かりやすい教材で活用しやすくなっている
- ・動画にすれば、更に生徒の興味を引き考えやすい内容になると思う
- ・拡大版や点字版があるほうが活用しやすい(盲学校)

## ●高校生向け消費者教育教材「社会への扉」に対するアンケート結果

高校生向け消費者教育教材「社会への扉」に対するアンケート結果

### ① 授業での活用状況について

【対象数】 73校 （国立2校 公立61校 私立10校）

【回答数】 73校

	校数
活用校	63
臨時休業※	6
未活用校	4
合計	73

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業により活用を計画していたものの実施できなかった学校

### ② 活用した教科(重複あり)

	公民	家庭	その他	教科外
校数	31	29	9	5

### ③ 活用した学年(重複あり)

	1年	2年	3年	4・5年
校数	33	20	18	4

### ④ 未活用校について

- ・独自にネット詐欺(1年)、キャッシュレス決済(3年)の授業を実施した
- ・「社会への扉」等を参考に、生徒の状況に適した指導を行った

